

清瀬市役所 おしごと★図鑑

第14回
水と緑と公園課
本庁舎3階
24番窓口

「市の自然や公園の維持管理・整備を行う」水と緑と公園課です。

こんな仕事をしています！	【緑政係】緑地の保存、育成に関すること。その他自然保護に関すること。市の木や市の花、市の鳥の保存及び育成などに関すること。 【公園係】公園・児童遊園の維持管理、公園などの占用及び使用、占用料の徴収に関すること。
水と緑と公園課ってどんな部署？	【緑政係】市の貴重なみどりを次世代に残すために緑地の公有地化、老木化した緑地の若返りを図る萌芽更新を実施。生物多様性保全の推進。 【公園係】新しい公園の整備。公園駐車場や照明、樹木や植栽、遊具などの維持管理。
最近のホットな話題！	台田のさくらウィークの開催…下宿にある台田運動公園のさくらは例年3月下旬に見頃を迎えます。柳瀬川に沿ったさくらの遊歩道をぜひご覧ください。開花状況は市ホームページでお知らせします。 きよせカタクリウィークの開催…清瀬の美しい景観をつくっている武蔵野の雑木林への関心を高めるため、その林床に咲くカタクリを象徴としてアピールすることを通じて、雑木林の保護と育成への意欲促進を目的に開催します。
これが使命だ！頑張るぞ！	【緑政係】緑が多く自然豊かな清瀬において、自然の豊かさゆえに時には課題が生じてしまうことも認識しながら、快適な居住環境と自然のより良い共存の道を引き続き検討していきます。 【公園係】中央公園や(仮称)花のある公園がこれから整備されます。多くの市民の皆さんに愛される公園にできるよう、頑張ります！

ピックアップ!!

台田のさくらウィーク・きよせカタクリウィーク

台田運動公園には3月になると美しいさくらのトンネルができます。また、中里緑地保全地域には可憐なカタクリが咲き乱れます。自然豊かな市が誇る春の風物詩をぜひご覧ください。

※従来の「さくらまつり」「カタクリまつり」はリニューアルされ、提灯や仮設トイレの設置及び誘導員などの配置は行わず、自由鑑賞です。

※駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください。

期間中は週に2回程度開花状況を市ホームページでお知らせします。

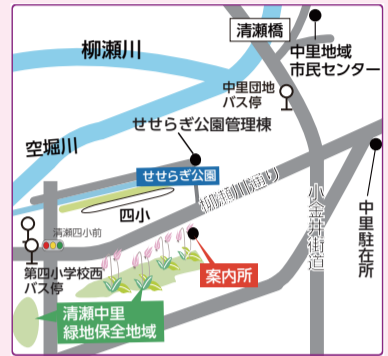
【花の見ごろ】3月中旬～4月上旬
場 さくら＝台田運動公園、カタクリ＝中里緑地保全地域
水と緑と公園課公園係
☎042-497-2098

◆関連イベント「自然観察会(きよせカタクリウィーク)」

各日先着20人。日3月23日(土)・30日(土)午前10時～11時(雨天時は翌日曜日。日曜日雨天時は中止)【集合場所】せせらぎ公園管理棟 申問各日前日までに清瀬の自然を守る会事務局・渡邊☎042-492-0710へ



詳しくはこちら



きよせカタクリウィーク会場



金山橋から見える桜並木



中里緑地保全地域のカタクリ

令和5年度清瀬市教育委員会表彰

2月7日、令和5年度清瀬市教育委員会表彰式が開催されました。清瀬市教育委員会表彰は、清瀬市の教育及びスポーツ、文化の振興発展に貢献し、その功績が顕著な方や模範となる優秀な成績をおさめた方を表彰するものです。今年度は19人が受賞され、皆さん、晴れやかな表情で賞状を受け取りました。

問教育企画課企画係☎042-497-2537



受賞された皆さん

市内生産者の横山直樹さんが出版した書籍を寄贈

「横山園芸」の横山直樹さん(中清戸)が、『新版 クリスマスローズ-この一冊を読めば原種、交雑種、栽培などすべてがわかる』の出版報告のため、市長を表敬訪問しました。本書はクリスマスローズの奥深い魅力を多角的に紹介し、クリスマスローズのことがわかる一冊となっています。ご厚意により、本



横山さん(左)と渋谷市長

書を市内図書館にご寄贈くださいました。問産業振興課農政係☎042-497-2052

「令和6年能登半島地震災害義援金」をお預かりしました

「令和6年能登半島地震災害義援金」として「清瀬市ラジオ体操連盟」の皆様をはじめ、さまざまな団体・個人の方より募金をお預かりしました。皆様よりお預かりした募金は、2月14日現在で1,476,999円となり、全額日本赤十字社へ送金しました。皆さんの温かいご支援・ご協力をありがとうございました。引き続き、ご支援をお願いします。

なお、お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じ、能登半島地震の被災者の方々の生活を支援するため、被災状況に応じて公平に届けられます。

【協力団体(敬称略)】清瀬会・清瀬市ラジオ体操連盟・清瀬管工事組合・健康麻雀ファーストクラブ・清瀬管弦楽団・清瀬第八小学校・清瀬市ラジボール同好会一同
問福祉総務課福祉総務係☎042-497-2056



清瀬市ラジオ体操連盟の皆さんと渋谷市長

令和5年度全国健康づくり推進学校 清瀬第七小学校優秀校受賞

学校と家庭、地域社会と連携を図り積極的に健康づくりを推進し、成果を上げている学校として、清瀬第七小学校が表彰されました。日ごろの児童への健康教育、食育などの取り組みが高く評価され、東京都の推薦を受け、令和5年度全国健康づくり推進学校優秀校を受賞しました。

問教育企画課学務係☎042-497-2539



七小吉田校長(左)、同小須山養護教諭(中央)、坂田教育長

清瀬こども俳句

選評＝石田波郷俳句大会実行委員会・細見遼子
※今回の俳句は「第15回石田波郷俳句大会」ジュニア俳句賞から。学年は大会時。

夏バテの母のかわりに皿あらい……………清瀬小3年 小暮蒼生
暑かった夏休み。お母さんは朝昼晩と子どもたちに食事を作ってくれた。そのお母さんが夏バテ。食事作りにつかれちゃったのかな。お皿あらいはできるから手伝うね。その間、ゆっくり休んでね。

軒下でまだ動いてるトカゲの尾……………清瀬四小4年 藤倉綾人
トカゲは危険を感じるとしっぽを切りはなします。そのしっぽは10分ぐらいはげしく動いて敵の注意を引きます。もしかすると作者におどろいてにげたのかな。びっくりどきどきを俳句にしました。

たんぽぽの綿毛を追って家に着く……………清瀬四中1年 池田有里菜
あたたかな春の日。そよ風に乗ってたんぽぽの綿毛が飛んでいる。ふわふわ飛ぶ綿毛を追いかけて行ったらいつの間にか家の前。絵本の中にあるような、夢の中にあるような想像力豊かな作者。